



子育て同盟の活動報告



1

子育て同盟（経緯・概要）

少子化問題に危機感を持った10県知事が「子育て同盟」を結成/協力して現場の声を活かした子育て支援、少子化対策を地方から発信しようとする。



発足式(4月9日)

取組方針

- 同盟県の施策の情報共有、及びブラッシュアップ
- 地方、現場レベルからの、国・各界への提案
- 国民の機運醸成、少子化対策への意識喚起

発足に際しての表敬訪問より(4月9日)

総理大臣、厚生労働大臣
そして、女性活力・子育て支援担当大臣も応援！

活動実績

「子育て同盟サミットinとっとり」の開催（7月28日）

同盟10県知事が鳥取県に集結し、少子化対策・子育て支援についての共同事業、国への提案を決定

子育て政策待ったなし！今でしょ！！

共同事業

- 「育児・家庭」「婚活・出会い」の推進日の設定等による機運醸成
- 子育て応援企業の表彰制度の創設
- 「はぐくみ支援ポータルサイト」の共同運営
- 少子化対策を調査・研究する共同調査チームの設置

国、与党へ緊急提言（8月8日）

結果反映

特に強く要望

- 地方が少子化対策に自由に活用できる基金の創設
- 子ども・子育て新制度についての、地方の意見の反映、財源の確保
- 保育士・幼稚園教諭の処遇改善、配置基準の適切な見直し

内閣府
「地域少子化対策強化交付金」
(平成25年度補正予算)

2

子育て同盟（共同イニシアティブ事業）

子育て同盟として、以下の共同事業を展開

① 「育児・家庭」「婚活・出会い」を推進する日の設定等による機運醸成

「婚活」や「子育て」に積極的に取り組む日を設定し、同盟県内、更には全国に向けた啓発活動を展開

毎月19日を「育児・家庭」「婚活・出会い」について考え、活動する日と設定

連動

県民参加型のキャンペーンを展開

（募集中）子育て同盟ロゴ募集

（展開例）企業とタイアップ

② 子育て応援企業の表彰制度の創設

独自性、先進性のある子育て支援の取組を行う企業を表彰し、その活動内容を広くPR

各同盟県で推薦
(11社)

最優秀(1社)、優秀企業(3社)
選出

取組を広く周知
(サミットでの事例発表等)

表彰
対象

(社内活動)仕事と子育ての両立支援の取組
(顧客支援)企業活動を通じて、子育て家庭の応援
(地域貢献)地域と協働した子育て家庭への応援



子育て同盟はぐくみ支援ポータルサイト

③ 「はぐくみ支援ポータルサイト」

子育て同盟の活動状況、同盟県の施策などを一元的に発信

④ 共同調査チーム

地方の少子化対策について調査・分析・企画をおこなうチームを設置
(同盟職員で構成)

子育て同盟からの提言・アピール

現在、我が国の少子化はとどまる気配はなく、国の閉塞感につながる危機的な状況のなか、だれもが安心して子どもを生み育てられ、夢と希望をもって働き、子育てを皆で支える社会にするために、国、地方、子育てに関わるすべての人が、それぞれ知恵を絞りながら連携して取り組んでいかなければならない。

そこで、本年4月9日、宮城県、長野県、三重県、鳥取県、岡山県、広島県、徳島県、高知県、佐賀県、宮崎県の10県知事が子育て同盟を発足し、次の提言をまとめた。

今後、各関係機関とも連携し、この提言の実現に向けて努力していく。

➤ 安心して生み育てられる社会とするため…

- 多様なニーズに対応できる保育サービスの質・量の確保
- 子どもに関わる医療の充実、体制の整備
- 放課後児童支援の拡充、病児・病後児対応の充実
- 障がいなど特別な支援が必要な子ども・家庭への対応の充実
- 不妊に悩む夫婦への支援の充実

➤ もっと夢と希望を持って働けるようにするため…

- 保育などのサービスを提供する従事者の抜本的な処遇（給与水準、雇用形態）の改善
- NPO、ボランティアが行う子育ての取組認知と積極的支援

➤ 仕事と子育てが両立でき、子育てを皆で支える社会にするため…

- 子育ては社会への貢献との意識喚起(育児『休業』という用語の見直しなど)
- ワーク・ライフ・バランスに関わる企業への働きかけと支援の強化
- 地方に若者が住み続けられる国づくり

平成25年4月9日

子育て同盟10県知事

提言・アピール!

国の関係省庁へ

総理大臣
女性活力・子育て支援担当大臣
厚生労働大臣



発足に際しての表敬訪問より
(平成25年4月9日)